

ほしめの



発行日 令和5年 6月23日 発行者：干布小学校教育後援会

教育後援会は、今年で46年目を迎えました。これまで、地域の皆様の深いご理解と多大なるご協力を賜り、地域で学ぶ、地域に学ぶことを中心とした体験活動など、特色ある学校づくりを充実させることができました。今年度もどうかご協力賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

教育後援会 会長 鈴木 修史



干布地区の皆様には、日頃より教育後援会の活動に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、これまで不安と不自由な中で生活をしてきた子供たちにも少しずつ笑顔が戻り、自粛や縮小していた学校の行事や活動も行えるようになりました。4月の入学式は22名の元気な新入生が入学し、5月の運動会は大勢の保護者や地域の方々に応援をしてもらい、活気がある楽しい運動会でした。これらの行事を従来通り行えたことは大変嬉しく思います。

今年も当会としては、干布の子供たちが様々な活動において活躍することの励みとなるよう賞揚して参りたいと思います。また、「おらほの学校づくり委員会」も後援し、地域の方々に関わりご協力を頂きながら、伸び伸びと学校生活を送れるような特色のある学校づくりに支援して参りたいと思います。皆様方には何卒ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

地域とともに

干布小学校 校長 多勢 弘子



地域の皆様には本校の教育活動を温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。

4年ぶりに対面の活動が始まりました。笑顔が一段と活動に活気を与えてくれます。子供たちには、笑顔とともに人とのつながりを大切にし、これまで培ったICT活用を生かしつつ、様々な課題解決に立ち向かう力をつけてほしいと考えています。

特に、今年度は新公民館完成、四谷小との交流50周年と、新たな交流の場が広がりそうです。これを機に子供たちと地域の方々とのふれあい活動を通して、さらに地域が元気になる取組を進めていきます。

地域の未来を支える子供たちの確かな成長のため努力してまいりますので、今後ともご支援よろしくお願いたします。